

基本コンセプトと機能概要

基本コンセプトとしては以下の通りとなります。

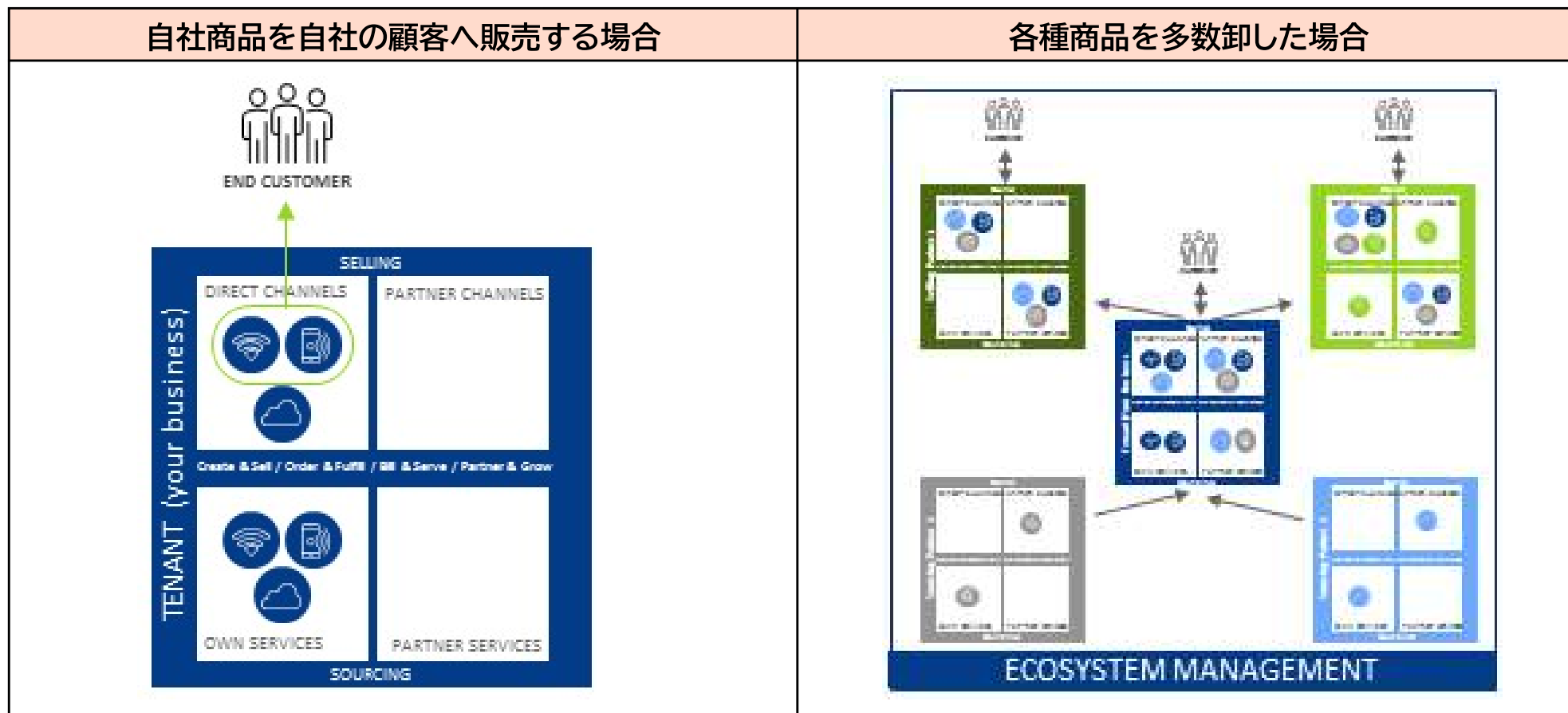
コンセプト	機能内容
仮想化／標準化	・同じプラットフォーム上では、異なるテナント間でも同じような操作が可能となります
ホワイトレーベル	・各事業社が顧客・商品を管理できると同時に、他の事業社へも同じ商品を扱えます ・小売商品と卸商品とでは同じサービスであっても異なる価格帯を設定することができます

これらを実現するためにテナント管理を備えています。プラットフォーム上の各テナントは各機能（商品管理、顧客管理、オーダ管理、料金計算＆請求の機能をテナント間で完全分離し、保持することができます。

機能概要	機能内容
商品管理	・柔軟な料金設定を持つ商品を定義することができる ・小売商品または卸商品として販売することができる ・他のテナントに卸販売し、エコシステムにてビジネスパートナーの管理ができる
顧客管理	・直販／卸の顧客を管理し、各顧客の契約商品・サービスの内容を管理することができる
オーダ管理	・柔軟かつカタログベースのオーダ管理を実施し、プロビジョニングを管理ができる ・複数のサービスのプロビジョニング管理を分けてシームレスに管理ができる ・卸サービスのプロビジョニングの管理ができる
料金計算＆請求	・顧客への請求について振替などを加味して料金計算することができる ・複数の通貨、言語を加味して請求・収納・問合せ状態を管理することができる ・小売と同様に卸側も独立して料金・請求ができる

マルチテナント／テナントグループ

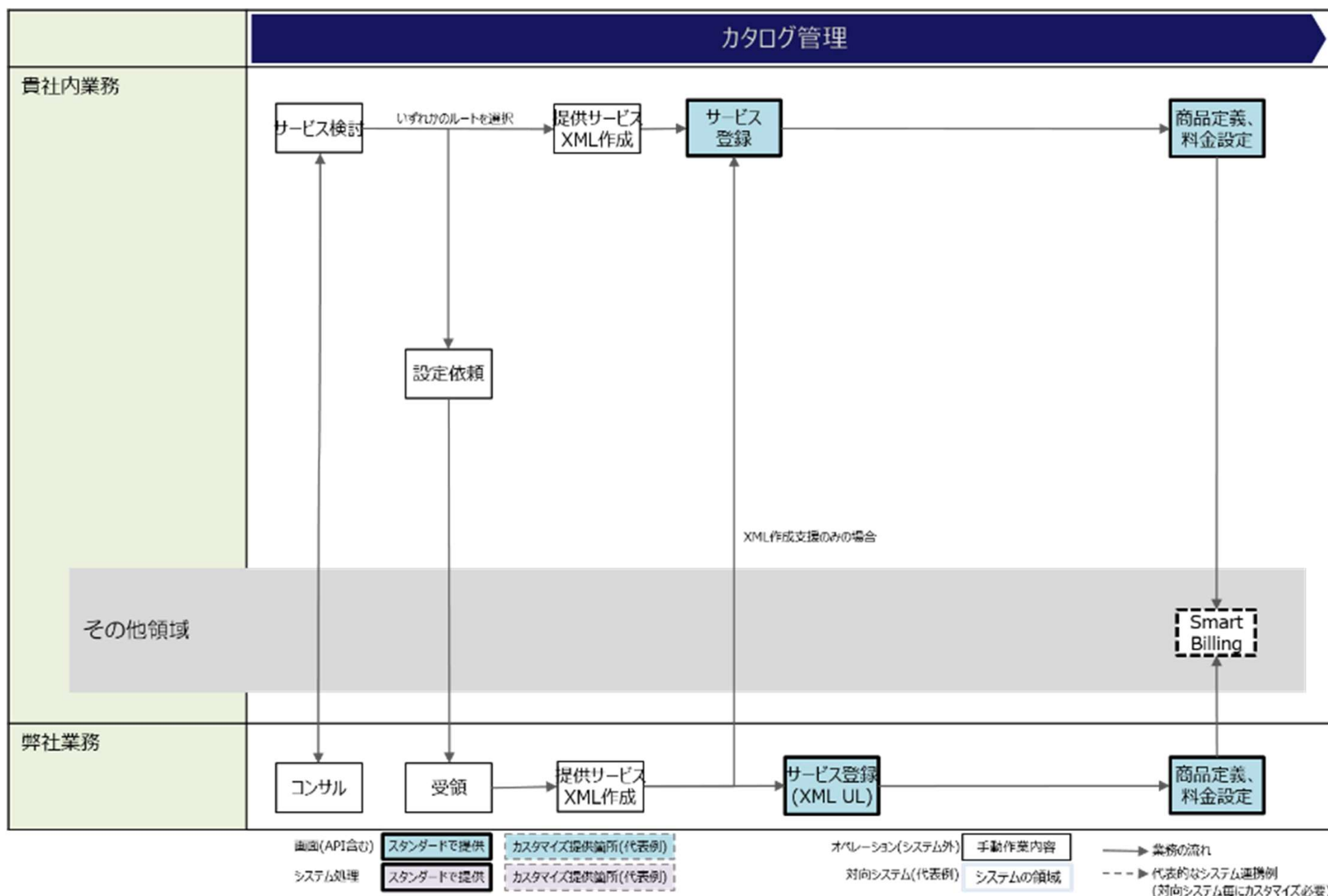
クラウド型フルフィルメントサービスではマルチテナントをサポートしています。
1つのプラットフォーム上にテナントレベルで独立した情報を持ち、他のテナントからは見ることはできません。
ただし、明示的に他テナントへの表示設定をすることが可能であり、これらにより容易に自社商品を卸すことができます。



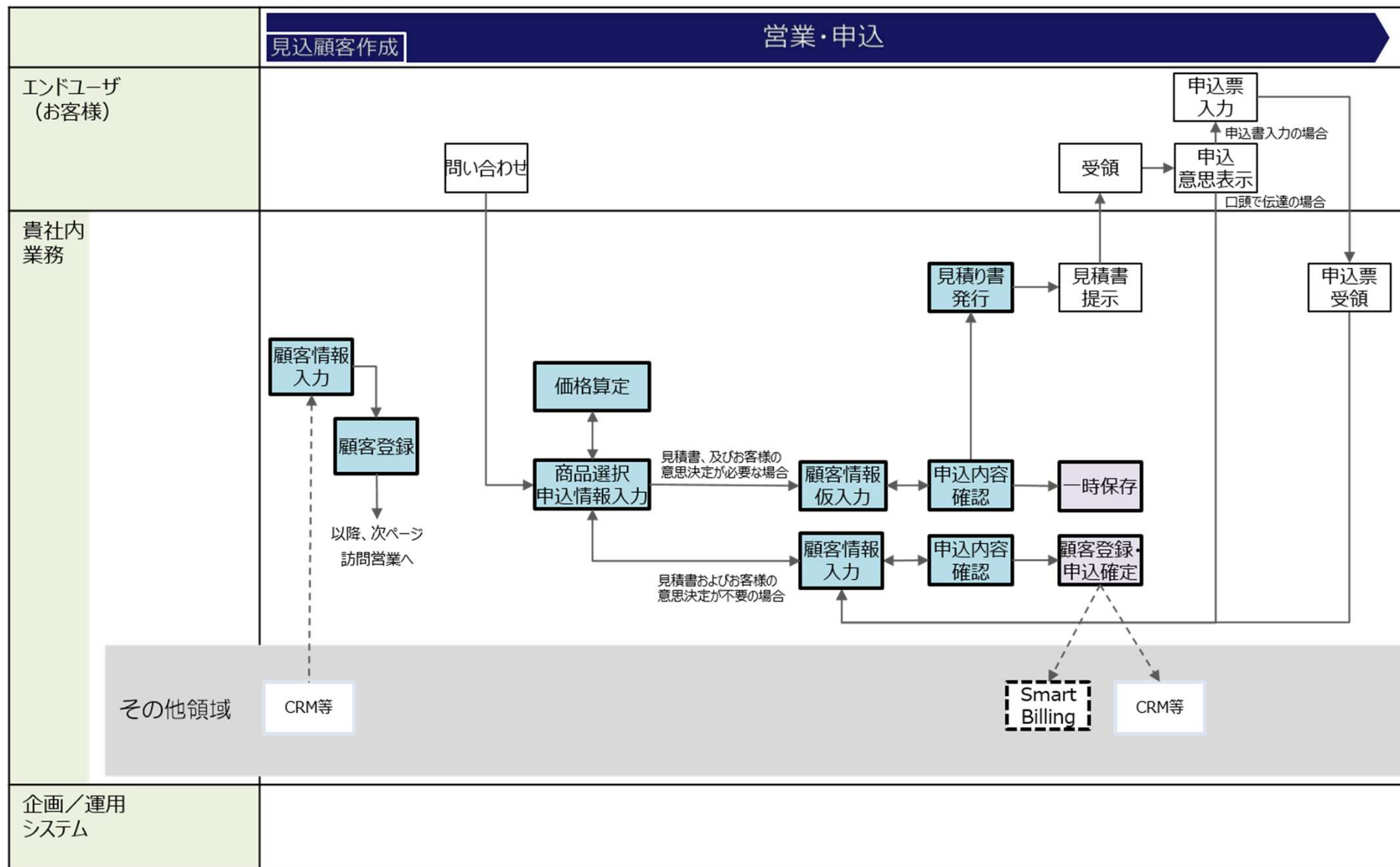
なお、卸設定を可能とするためには同一テナントグループ上にテナントが配置されている必要があります。
同一テナントグループ上のテナントはいつでも卸設定が可能となります。(テナントグループの変更はできません)

別添:ヒアリングシートにより実施できる標準ワークフロー

クラウド型フルフィルメントサービスの【設定】業務フロー(1/1)



新規顧客の場合

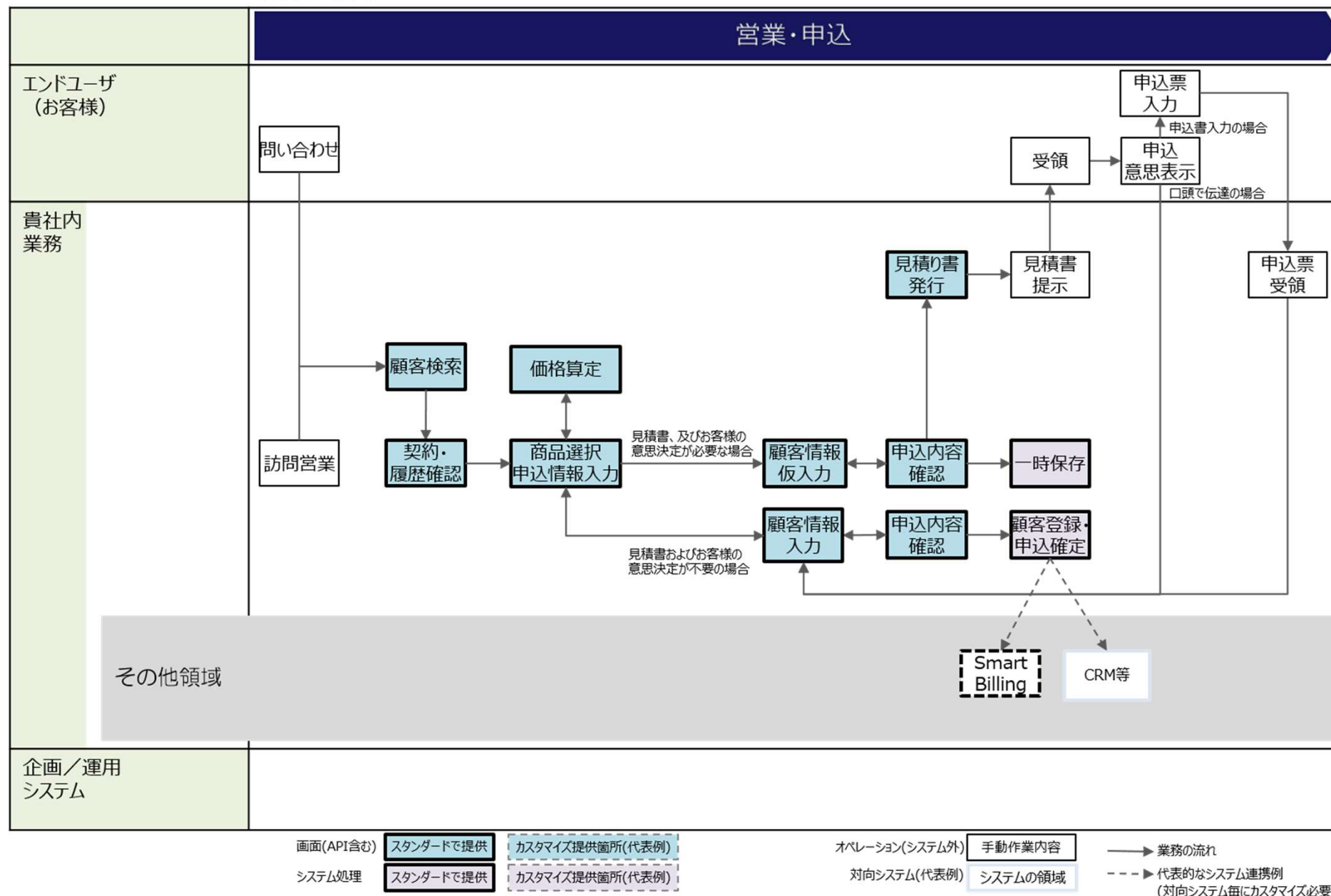


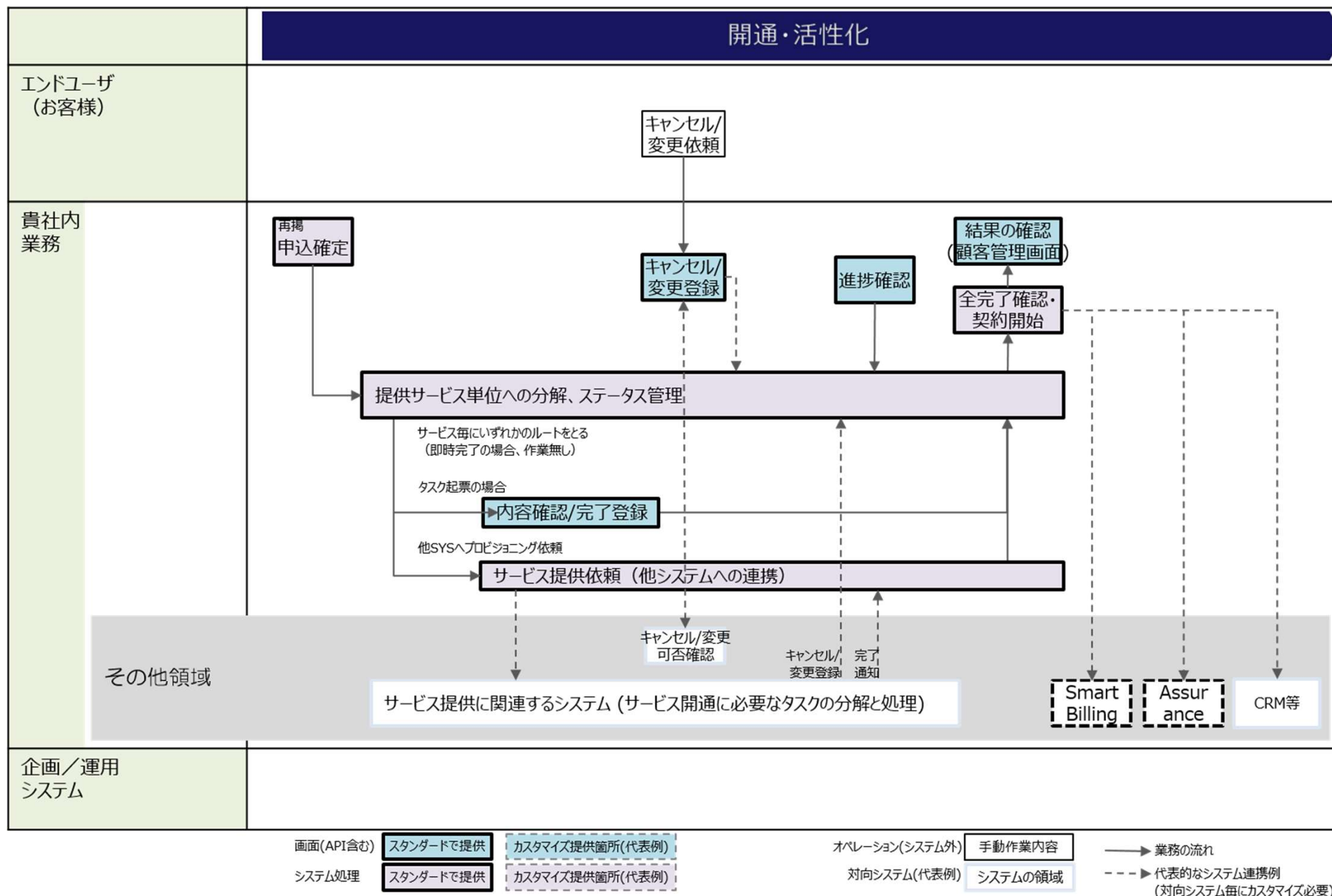
画面(API含む) **標準で提供** カスタマイズ提供箇所(代表例)
 システム処理 **標準で提供** カスタマイズ提供箇所(代表例)

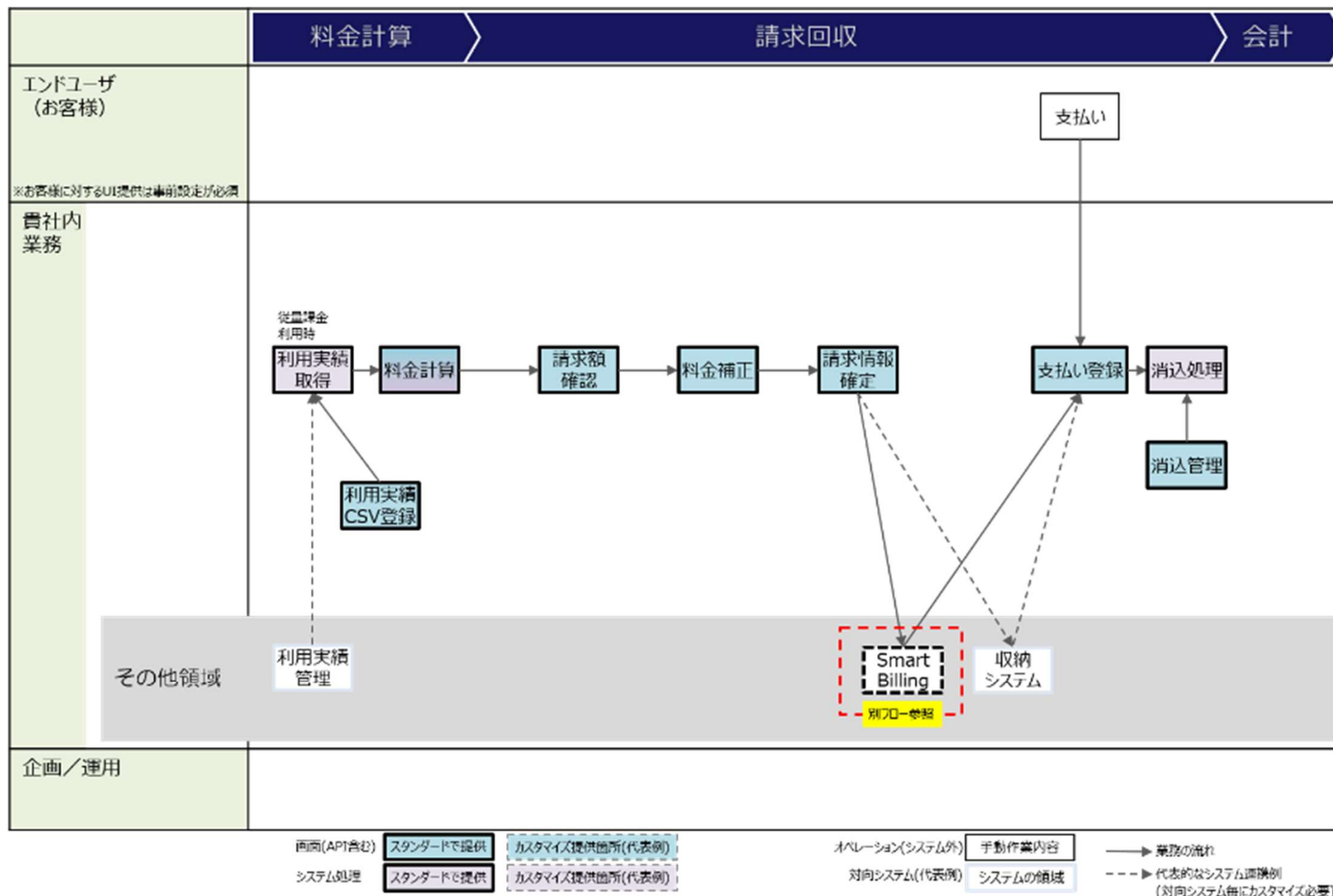
オペレーション(システム外) **手動作業内容**
 対向システム(代表例) システムの領域

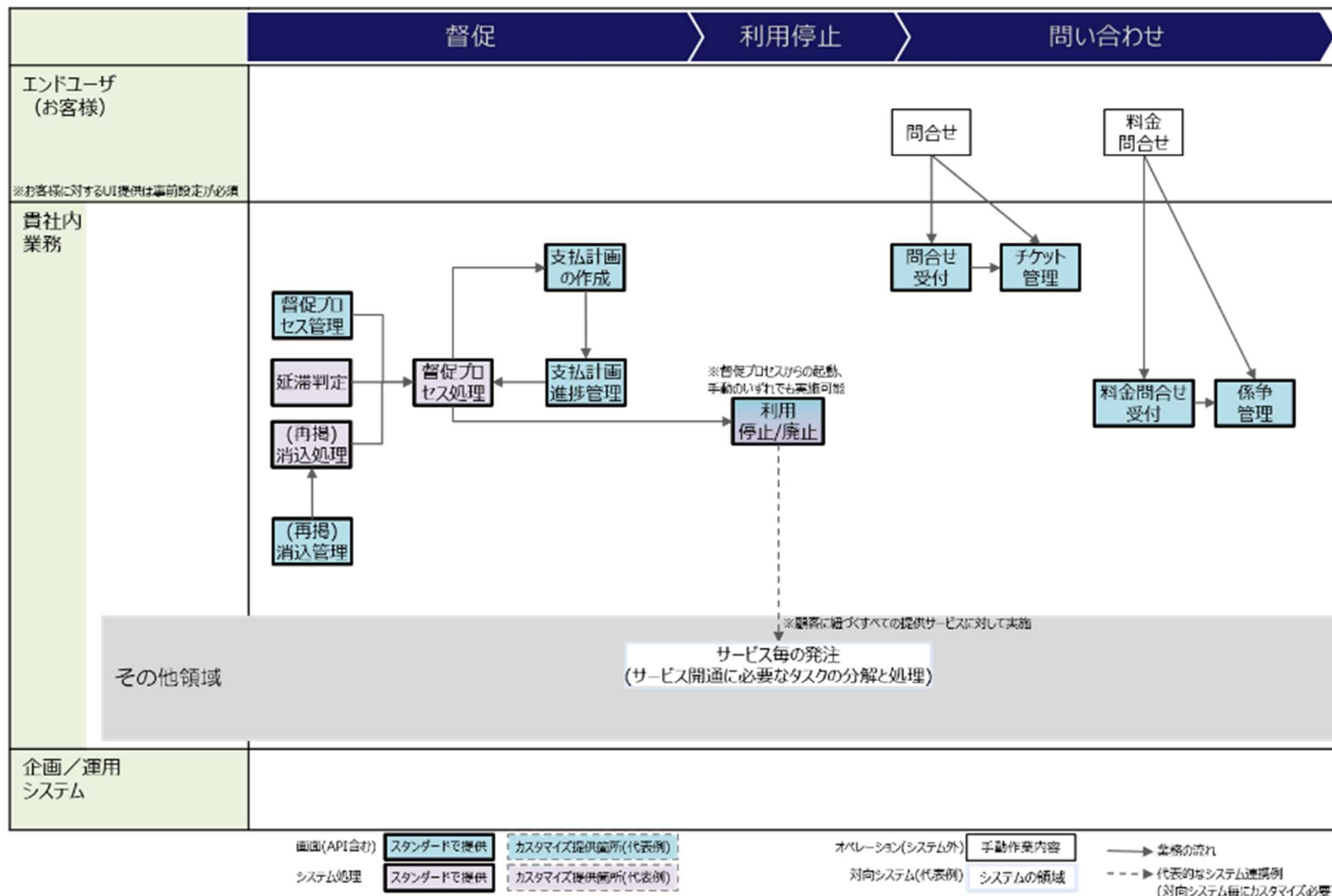
→ 業務の流れ
 --- 代表的なシステム連携例
 (対向システム毎にカスタマイズ必要)

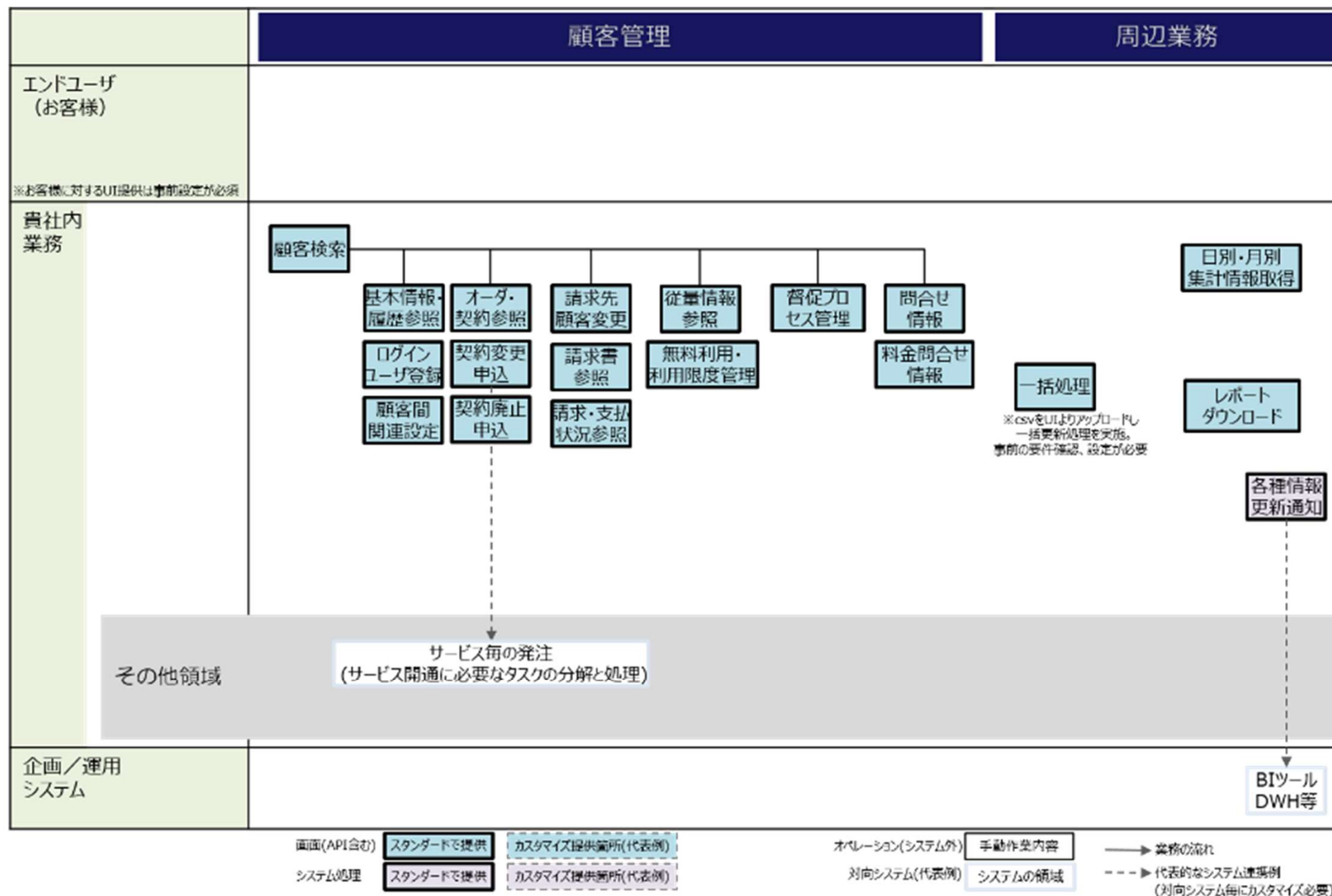
既存顧客の場合









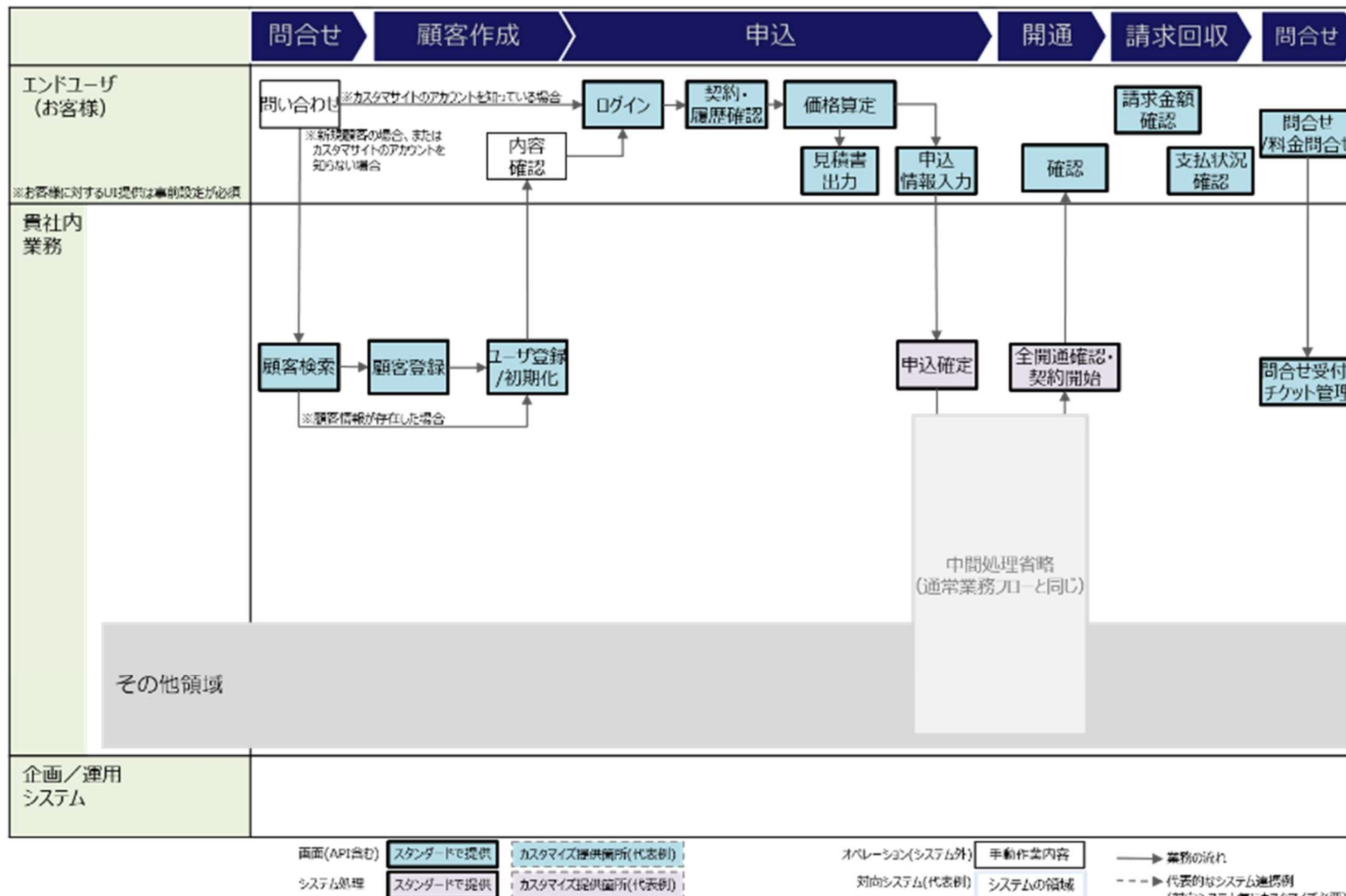


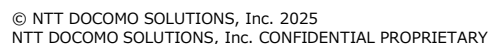
クラウド型フルフィルメントサービスの【カスタマUI】業務フロー（1/2）

つながる。驚きを。幸せを。



（お客様画面（カスタマサイト）利用の場合）



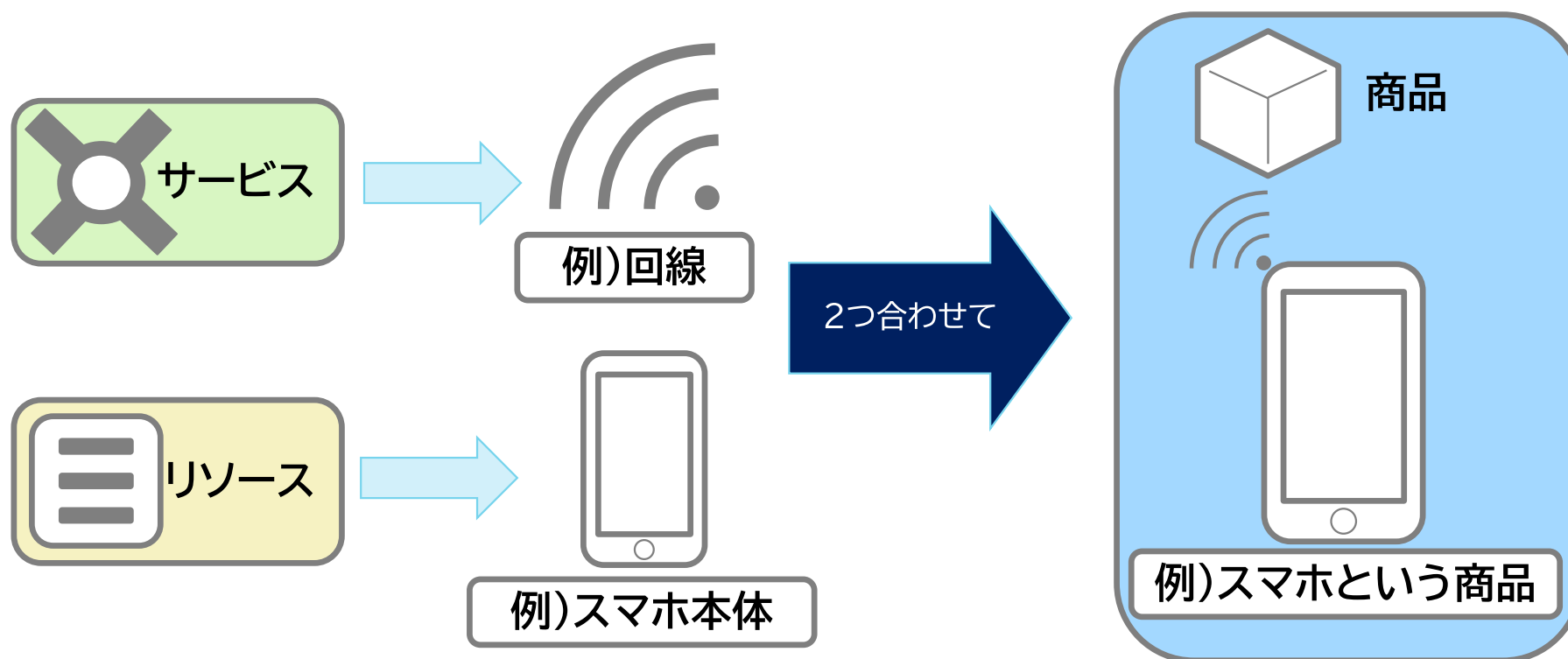


クラウド型フルフィルメントサービスでは商品・サービス・リソースについて管理可能であり、各商品は顧客に販売することが可能となります。

サービスは無形の内容を扱い、リソースは有形の内容を扱います。

(それらの1つ、または2つを組み合わせる商品として販売します)

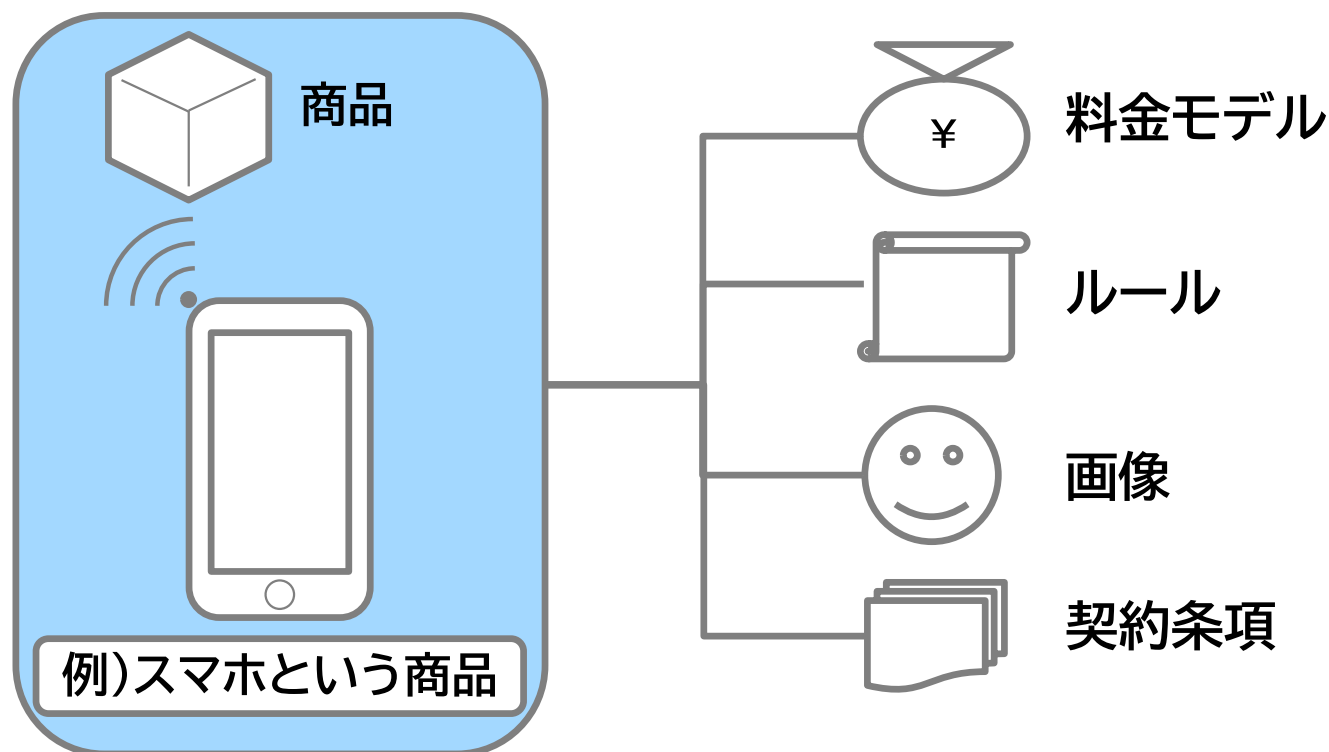
例えば、スマホ本体がリソース、契約する回線サービスがサービスとなり、それらを合わせて商品と呼びます。



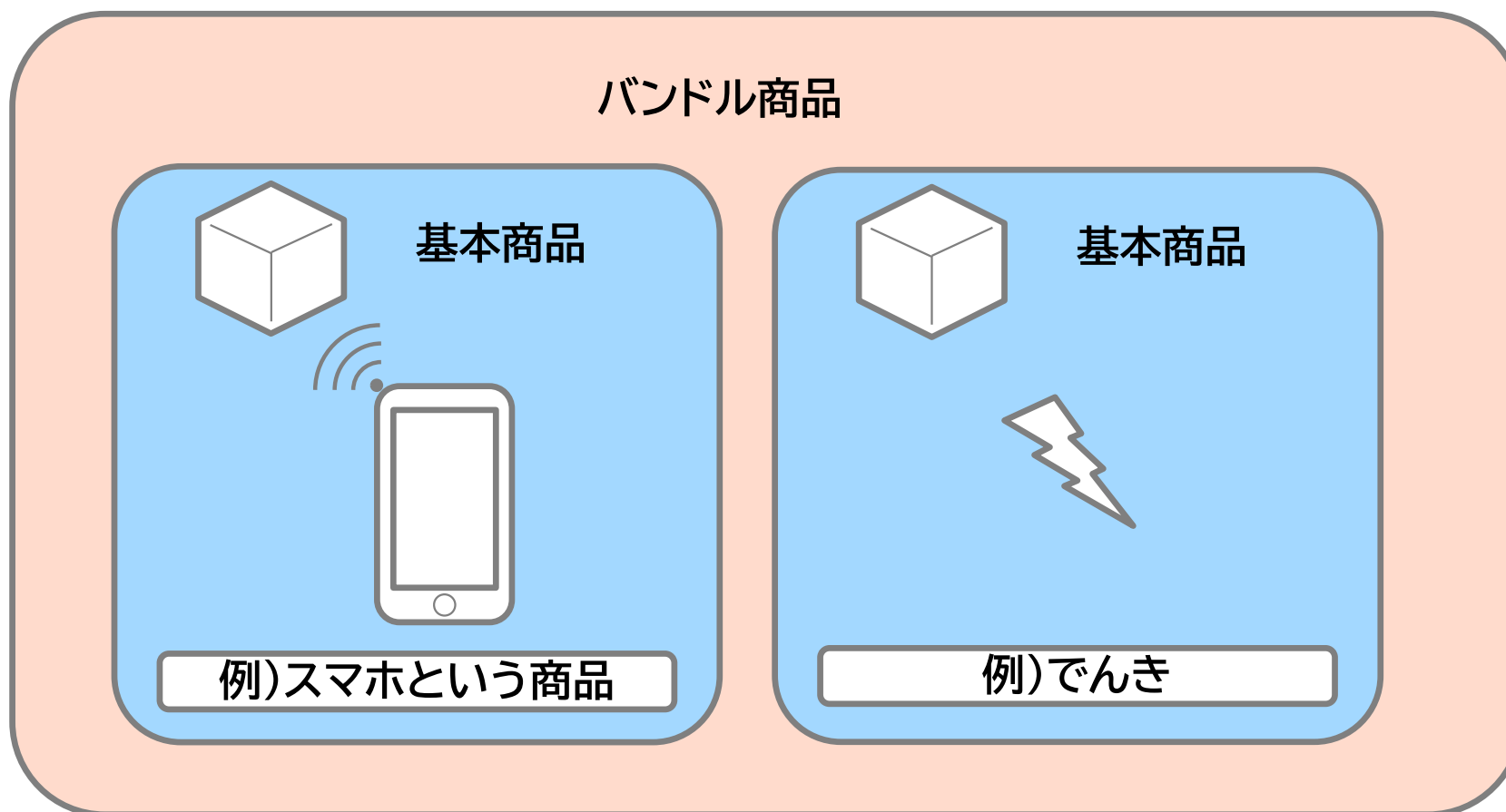
商品管理

商品管理は全ての販売可能なサービスやリソースから選ぶことができ、商品管理情報を設定することができます。

1. 商品には料金モデルを設定することができます(詳細は「05. 料金モデル」を確認ください)
 2. 商品には販売チャネルを設定することができ、オペレータにより販売商品を設定することができます
 3. 商品にはファイルを付与でき、商品画像や契約条項を管理することができます
 4. 商品には様々なルールを設定することができ、依存関係時のルール、品目変更時のルール、商品関の評価、
それに加えて、プログラムによるビジネスルールを定義することができます
 5. 商品内の管理情報はタイムラインを持つことができ、未来日からの販売や、販売停止などを管理することができます
- 商品やサービス、リソースについては、XMLファイルを利用しUIやAPIを介してエクスポート／インポートします。
(各種用語の定義やデータモデルについては参考ページに記載)



商品は基本商品、バンドル商品の構成を定義することができます。
バンドル商品には複数の基本商品を含めることができ、基本商品とは異なる料金モデルや販売チャネルを設定することができます。



サービス管理

テナントには自社サービスを載せることができ、他テナントへ卸すことができます。また、各サービスには複数のサービス特性を含めることができます。実際の申込書をサービスへ変換するイメージを下記に記載します。

各サービス特性には様々な定義を設定することができます。サービスの定義はXMLファイルにて管理され、UIやAPIによりアップロードすることが可能です。ただし、XMLファイルを直接編集することは敷居が高いため、XMLファイルを出力するための設定補助シートを用意しています。設定補助シートには各サービス特性の属性(入力属性、必須/任意、入力可能な桁数、申込後の変更可否等)を容易に設定可能としています。

<携帯電話申込書>

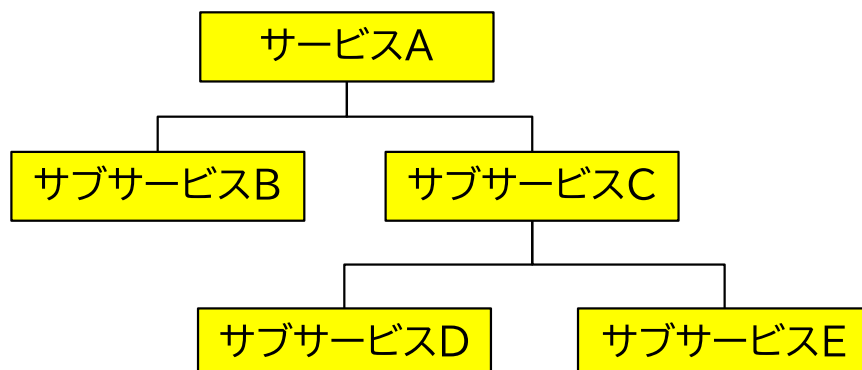
携帯電話番号	09011112222
メールアドレス	aaa@bbb.ccc
プラン	☐ プランA ☐ プランB ☐ プランC



<携帯電話サービス>

サービス特性名	入力属性	その他制約
携帯電話番号	数値型	11桁数固定
メールアドレス	文字列型	RFCに沿った正規表現の入力可能
プラン	選択型	プランA、プランB、プランCから選択可能

また、サービスには階層を作ることができ、サブサービスの管理が可能となります。各サービスは1つ1つ設定補助シートを用いて定義を設定します。



リソース管理

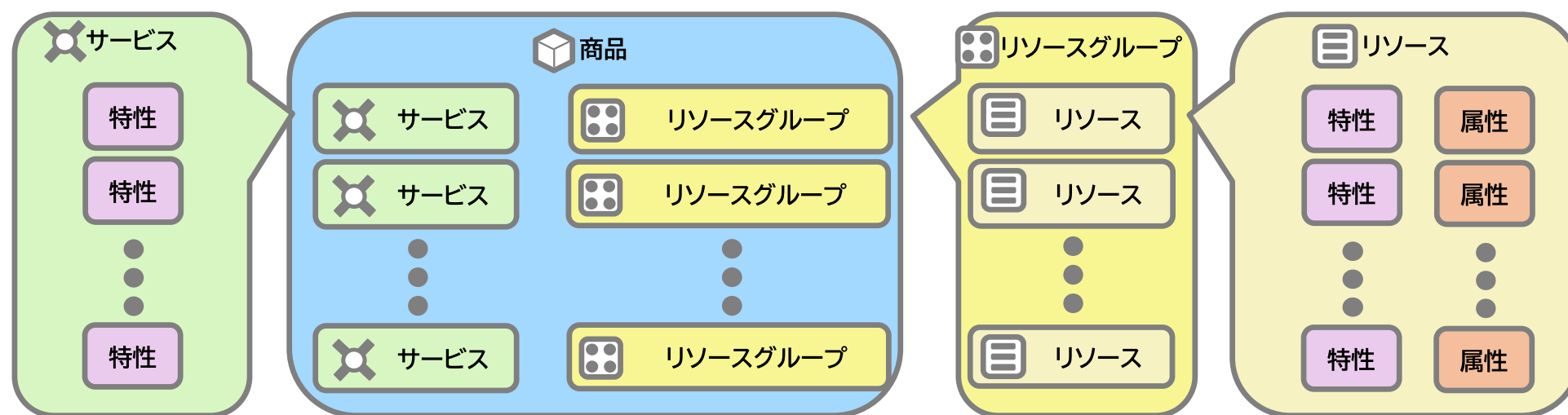
テナントには自社リソースを載せることができ、他テナントへ卸すことができます。

リソース定義は特性や属性を設定し、具体的な値をリソース仕様ごとに定義することができます。リソースは1つ以上のグループを商品に追加することが可能で、各リソースには複数の通貨や料金分類の価格設定ができます。

リソース定義・リソースグループ・リソース価格の定義はファイルにて管理され、アップロードすることが可能です。

(各ファイルを直接編集することは敷居が高いため、設定補助シートを用意しています)

サービスと異なり、商品にはサービス・リソースグループ(リソース)を組みます。(商品の構成は下記のとおり)

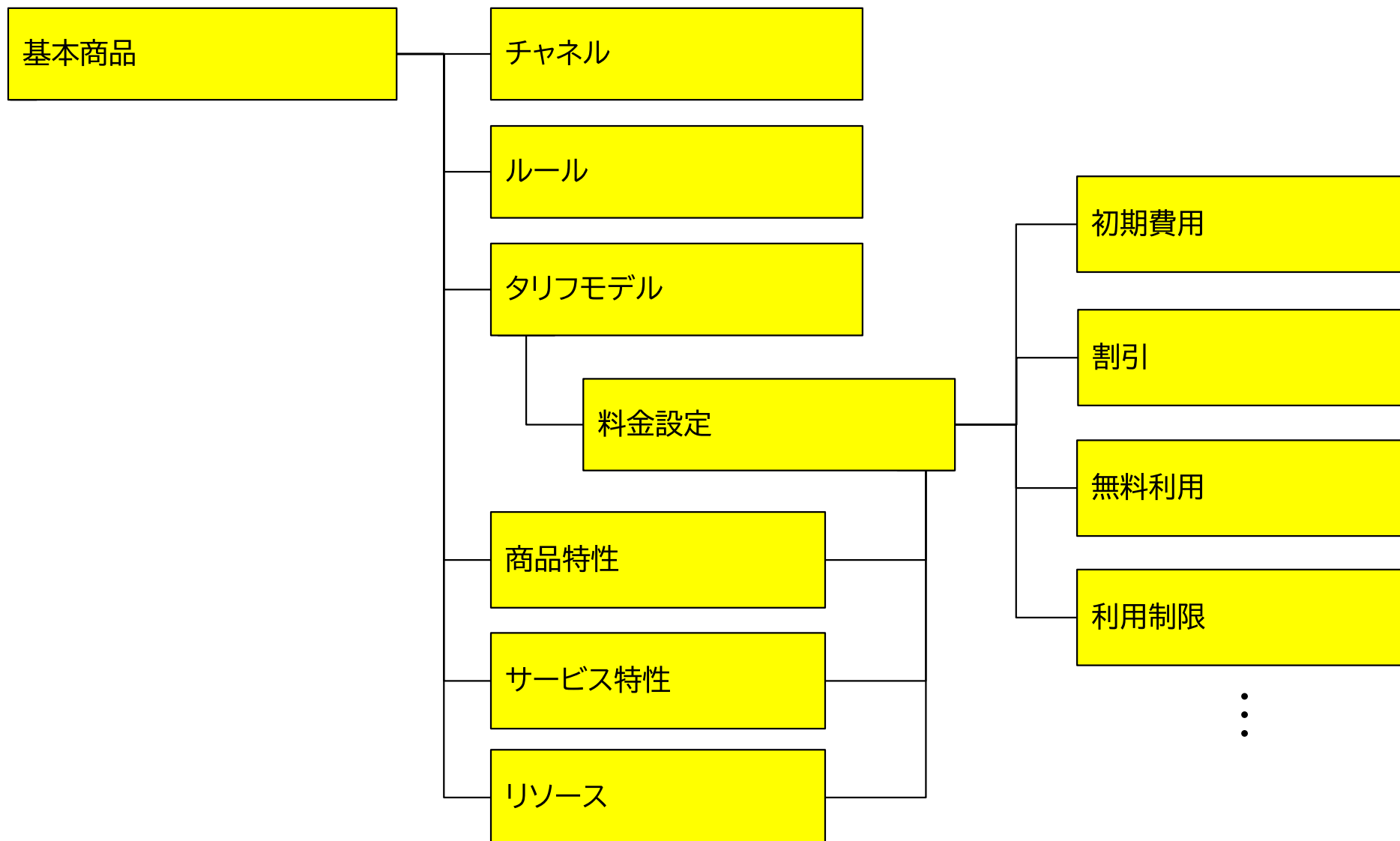


【参考】商品管理に関する各種用語

用語		用語の意味
日本語	英語	
基本商品	(Base) offer Product offering	顧客に販売可能な商品
契約商品	Product	顧客に販売した商品
商品グループ	Offer group	バンドルで販売する場合に必ず選択する基本商品のグループ
バンドル商品	Bundle offer	1つ以上の基本商品、商品グループが複数バンドルされた商品
チャネル	Channel	商品の販売チャネル(例:オンライン・小売・ディーラー・パートナー等)
商品構成	Offer component	基本商品の料金や特性
サービス	Service	顧客へ提供可能なサービス
サービス特性	Service feature	商品内の具体的なサービス特性の定義
リソース	Resource	モデムや電話のような物品を指す。リソースとサービスはそれぞれ分離して販売することが可能
商品構成グループ	Offer component group	定義されたグループからの選択を強制するための商品構成設定
料金設定	Charge	商品への設定した各料金(月額料金や従量課金等)と請求に関する設定
タリフモデル	Tariff model	商品へ設定した各種料金を1つにグループ化したもの
ルール	Rule	商品へのオーダや変更があったときの振る舞いの定義 ・アップグレード／ダウングレードのルール(商品の品目変更パスの定義) ・顧客タイプの制限(顧客のタイプやリスクにより販売を制限する事が可能) ・最大注文数(顧客がオーダ可能な最大数) ・商品の関連定義(Aプランを選択したら、BとCを記入しなければならない)

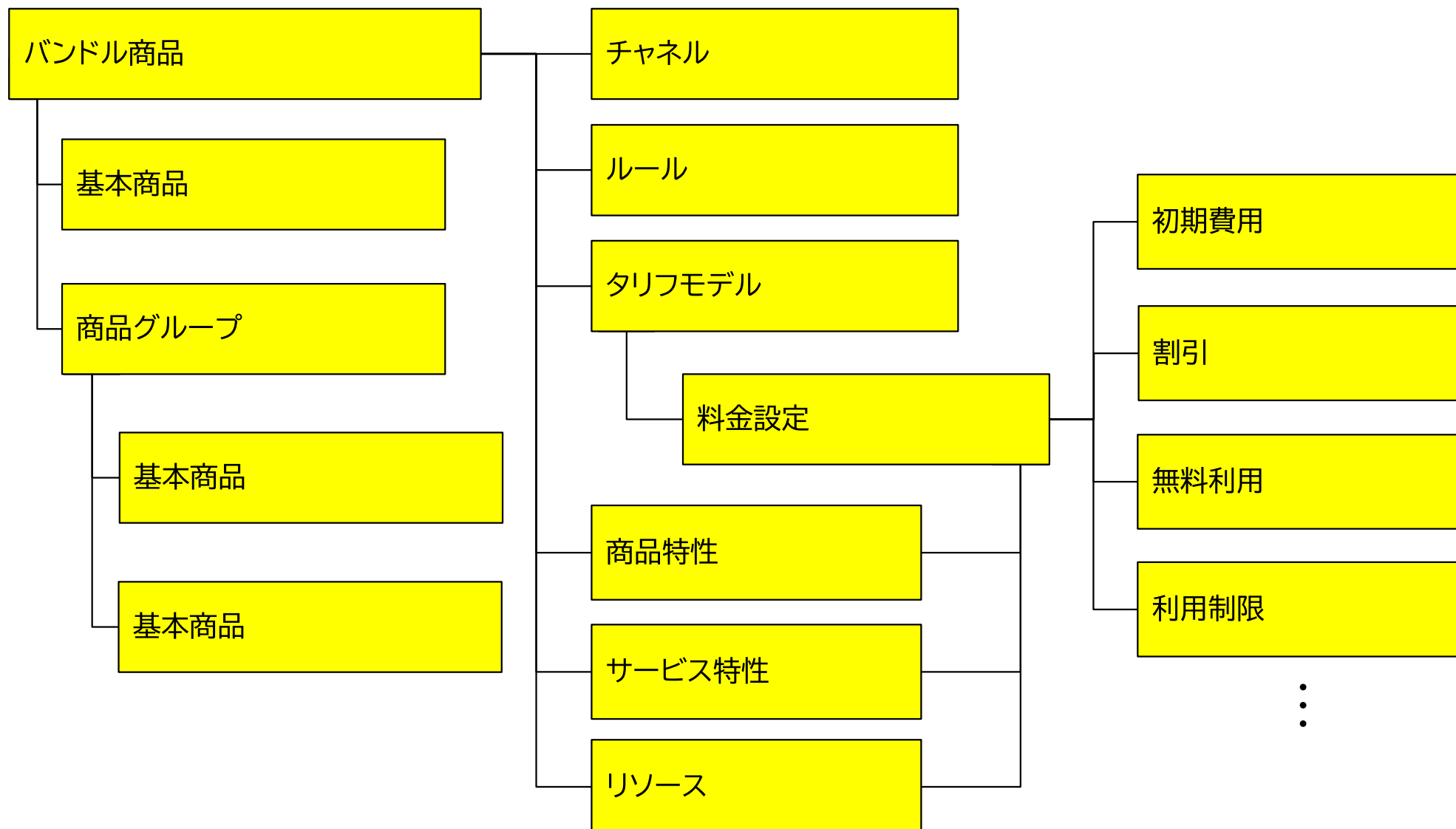
【参考】基本商品のデータモデルについて

基本商品の定義は以下となり、各種設定ができます。



【参考】バンドル商品のデータモデル

バンドル商品の定義は以下となり、各種設定ができます。

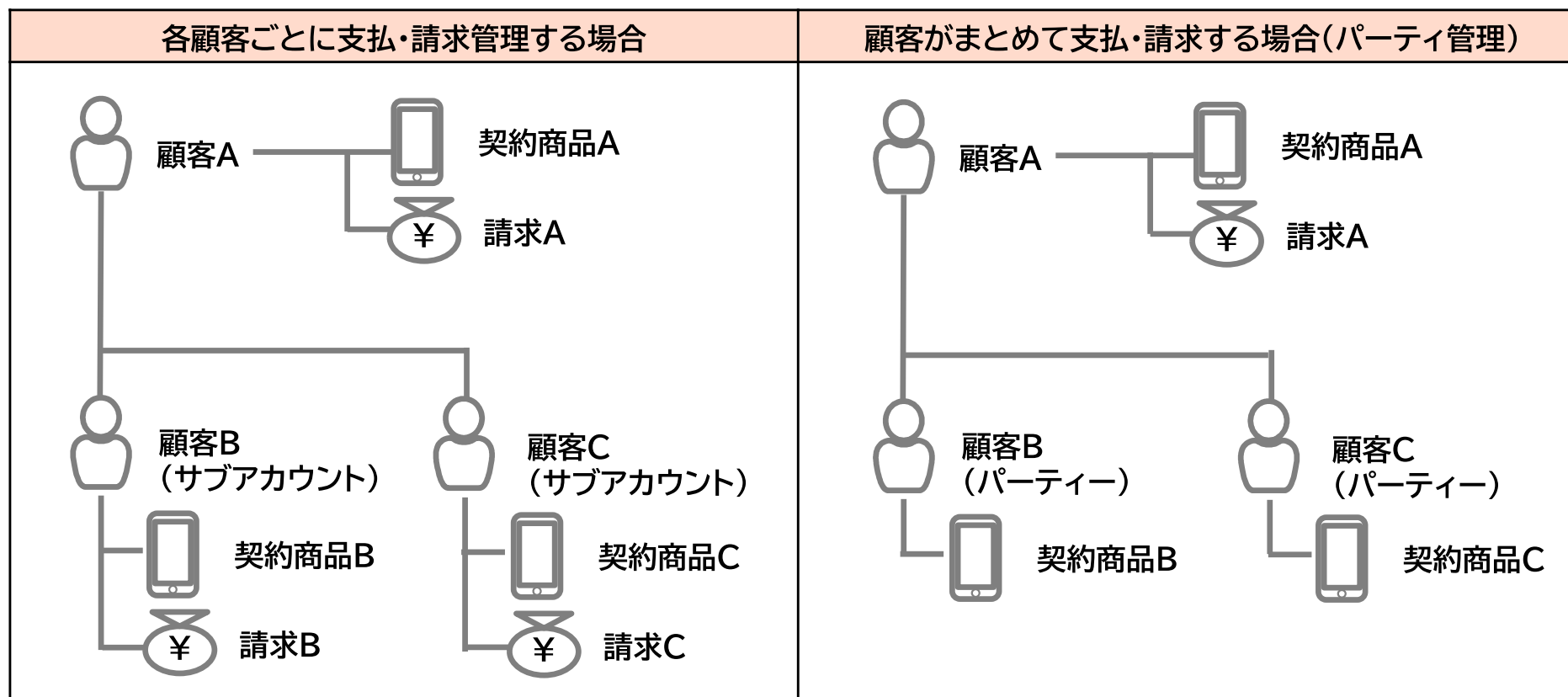


顧客管理

顧客管理については以下の機能が提供されています。

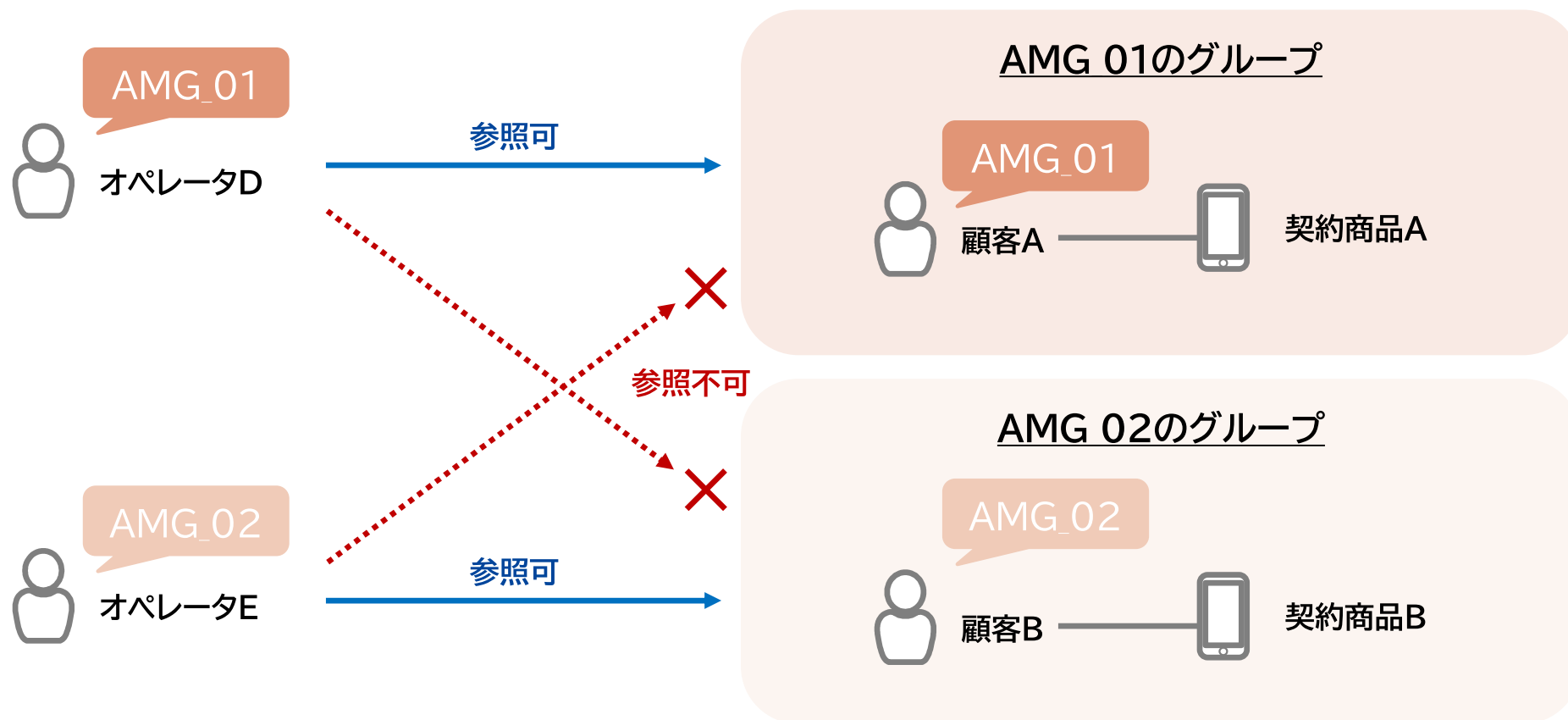
- ・UI画面、CSM画面にて管理することが可能となります。
(UIはオペレータ用、CSMはお客様用の画面となります。なお、UIカスタマイズはそれぞれ画面管理することができます)
- ・顧客情報はUI、APIのいずれでも可能となります。
- ・管理可能な顧客はアカウント管理グループにて制御が可能となります。

また、法人の組織構造は以下のように管理することが可能です。



アカウント管理グループは、オペレータにどの顧客を表示して良いか制御します。
オペレータ、顧客それぞれにアカウント管理グループを設定して利用します。

なお、テナントにアカウント管理グループが登録されていない場合、オペレータや顧客へのグループ設定はできません。
この場合、全オペレータが全顧客にアクセスすることができます。



顧客管理

顧客管理については以下の機能となります。

管理項目		管理内容	備考
アカウント	プロフィール	顧客情報の詳細・変更が可能です	管理項目は次頁以降記載
	履歴管理	顧客情報、商品情報、請求情報などの変更履歴を管理することが可能です	—
	通知管理	顧客へ通知した情報を管理します	—
	ユーザ管理	顧客へCSM画面を表示するためのユーザ情報を管理します	—
	サブアカウント管理	アカウント階層を持ち、サブアカウントを管理します	—
商品管理	商品情報	契約している商品情報を管理します	—
	オーダ管理	顧客へのオーダ情報を管理します	—
	一時保存オーダ	一時保存オーダ情報を管理します	—
料金管理	請求管理	顧客への請求情報を管理します。また、随時請求を発行することができます	—
	従量課金(未請求分)	請求前の従量課金情報を管理します	—
	無料利用	顧客の従量課金に対して無料利用／利用限度状況を管理します	—
	リソースファンド	顧客のリソース購入時に事前購入のファンドの使用状況を管理します	—
	請求および払い戻し	顧客への補正金情報を管理します	—
	請求振替	顧客への請求振替を管理します	—
	督促	顧客の支払いが停滞した場合の督促計画を管理します	—
	利用限度	顧客の利用限度に対して利用額に応じたアクションを管理します	—
	与信限度	顧客の支払い状況に応じて与信限度を管理します	—
	取引情報(料金関連)	顧客の取引情報を管理します	—
チケット	ケース	顧客のチケット、タスクを起票したり、状況を管理します	—
	料金のお問合せ	顧客への請求に対して料金問合せをし、返金などの状況を管理します	—

クラウド型フルフィルメントサービスの 顧客情報管理項目(1/2)

管理する顧客情報、請求情報、商品情報のうち設定は商品情報のみであり、顧客・請求情報は固定となります。

情報	項目		入力規則		
	和名	英名	必須	型	設定変更
顧客情報 (法人) *個人が申し込む場合は記入しない	グループ共通企業ID	Group Common Company ID	任意	文字列型(10桁)	—
	DUNS-No.	DUNS Number	任意	文字列型(9桁)	—
	法人番号	Corporate Number	任意	文字列型(13桁)	—
	TSR企業コード	TSR Business Number	任意	文字列型(9桁)	—
	企業形態	Business type	任意	リスト型(*2)	可能
	業種	Industry type	任意	リスト型(*3)	可能
	企業名	Business name	必須	文字列型(64桁)	—
	企業名カナ	Business name Furigana	任意	文字列型(64桁)	—
	企業正式名称	Legal name	任意	文字列型(64桁・カナのみ)	—
	企業内固有番号	Business number	任意	文字列型(64桁)	—
	部署名	Department name	任意	文字列型	—
契約者情報	敬称／役職	Title	任意	リスト型	可能
	姓	Last name	必須	文字列型(64桁)	—
	名	First name	必須	文字列型(64桁)	—
	ミドルネーム	Middle name	任意	文字列型(64桁)	—
	ニックネーム	Preferred name	任意	文字列型(64桁)	—
	姓カナ	Last name kana	必須	文字列型(64桁・カナのみ)	—
	名カナ	First name kana	必須	文字列型(64桁・カナのみ)	—
	電話番号	Phone	任意	電話番号型	*1
	Eメールアドレス	Email	任意	メールアドレス型	—

*1: デフォルト数字3桁以上であるが、設定変更により日本独自形式として数字10桁～11桁とする

*2: デフォルトでは法人、法人内組織、個人事業主から選択可

*3: デフォルトでは小売、卸、専門事業者、その他から選択可

クラウド型フルフィルメントサービスの 顧客情報管理項目(2/2)

情報	項目		入力規則		
	和名	英名	必須	型	設定変更
住所情報	郵便番号	postcode	必須	文字列型(7桁・数字のみ)	—
	都道府県	State / Province / Region	必須	リスト型(16桁)	可能
	市区郡町村名	Town / suburb	必須	文字列型(48桁)	—
	町名・番地	street name	必須	文字列型(64桁)	—
	町名・番地2	building	必須	文字列型(52桁)	—
連絡先情報	企業名	Business name	任意	文字列型(64桁)	—
	部署名	Department name	任意	文字列型(64桁)	—
	姓	Last name	任意	文字列型(64桁)	—
	名	First name	任意	文字列型(64桁)	—
	姓カナ	Last name kana	任意	文字列型(64桁・カナのみ)	—
	名カナ	First name kana	任意	文字列型(64桁・カナのみ)	—
	連絡手段	Preferred contact method	必須	リスト型(*2)	可能
	電話番号	Phone	条件付必須	電話番号型	*1
	携帯電話番号	Mobile	条件付必須	電話番号型	*1
	メールアドレス	Email	条件付必須	メールアドレス型	—
	言語	Preferred contact language	任意	リスト型	可能
追加情報	タイムゾーン	Time Zone	必須	リスト型	可能
	その他情報1	Additional information 01	任意	文字列型(64桁)	—
	その他情報2	Additional information 02	任意	文字列型(64桁)	—
	その他情報3	Additional information 02	任意	文字列型(64桁)	—
ドキュメント	カテゴリ(*3)	Document	任意	ファイル	—

*1:デフォルト数字3桁以上であるが、設定変更により日本独自形式として数字10桁～11桁とする

*2:Eメール、郵便、電話、ショートメッセージ(SMS)から選択可。Eメールの場合、メールアドレスが必須。電話の場合、電話番号が必須。ショートメッセージの場合、携帯電話番号が必須

*3:ドキュメントについて案件により選択可能。デフォルトでは”その他”のみ選択可能とする

クラウド型フルフィルメントサービスの 請求情報管理項目(1/4)

情報	項目		入力規則		
	和名	英名	必須	型	設定変更
請求種別	請求種別	Payment method	必須	リスト型 (*3)	SmaB利用により異なる
口座振替	金融機関名	smaB_bank	請求種別が ”口座振替“ の場合、必須	全角15桁	—
	金融機関コード	smaB_bankIdentificationNumber		半角数字4桁	—
	金融機関支店名	smaB_branch		全角15桁	—
	支店名支店コード	smaB_branchNumber		半角数字3桁	—
	預金種別	smaB_accountType		”当座”, ”普通”	—
	口座番号	smaB_accountNumber		半角数字8桁	—
	口座名義人	smaB_accountKanaCharacters		全銀許容文字30桁	—
	振込時の手数料負担	smaB_bankChargePayer		”企業”, ”お客様”	—
	電話(請求時)	smaB_billingContactTel		半角数字11桁	—
	Eメールアドレス	smaB_email		メールアドレス	*2
払込票	支払期限	smaB_paymentDueBy	請求種別が ”払込票払い” の場合、必須	”1”~”9”, ”10”~”58”	—
	未納判定日	smaB_daysUntilPayArrearDecision		”0”~”7”	—
	振込時の手数料負担	smaB_bankChargePayer		”企業”, ”お客様”	—
	電話(請求時)	smaB_billingContactTel		半角数字11桁	—
	Eメールアドレス	smaB_email		メールアドレス	*2

*1: SmartBillingを利用しない場合、請求書、または口座引き落としから選択可能

SmartBillingを利用する場合、口座振替、払込票、クレジットカード、請求書払い(外部)、電話料金合算、支払方法なしから選択可能

*2: デジタル請求の場合

クラウド型フルフィルメントサービスの 請求情報管理項目(2/4)

情報	項目		入力規則		
	和名	英名	必須	型	設定変更
クレジットカード	カード番号	smaB_maskedCreditCardNumber	請求種別が ”クレジットカード“ の場合、必須	半角数字4桁	—
	有効期限・年	smaB_goodThruYear		半角数字2桁	—
	有効期限・月	smaB_goodThruMonth		半角数字2桁	—
	セキュリティコード *2	—		—	—
	商品番号 *1	smaB_easyDoProductNumber		半角数字20桁	—
	シリアル番号 *1	smaB_renewalNumber		半角数字20桁	—
	利用者名	smaB_cardholdersName		半角大文字英字,スペース30桁	—
電話料金合算	請求先電話番号	smaB_chargingNumber	請求種別が ”電話料金合算“ の場合、必須	電話番号	—
	申込者	smaB_applicant		全角文字	—
	申込者カナ	smaB_applicantKanaCharacters		全角カナ文字	—
	申込者連絡先電話番号	smaB_applicantContactTel		電話番号	—
	個人／法人区分	smaB_applicantCategory		“個人”、“法人”	—
	Eメールアドレス	smaB_email		メールアドレス	*2

*2: デジタル請求の場合

クラウド型フルフィルメントサービスの 請求情報管理項目(3/4)

情報	項目		入力規則		
	和名	英名	必須	型	変更可否
口座情報 *2	口座名義人	Account holder	請求種別が “口座引き落とし” の場合、必須	文字列型(64桁)	—
	口座番号	Account number		文字列型(9桁)	—
	金融機関番号	Routing number		文字列型(7桁)	—
請求者受領情報 * 契約者情報から 自動コピー	企業名	Business name	任意	文字列型(64桁)	—
	企業名カナ	Business name Furigana	任意	文字列型(64桁)	—
	部署名	Department name	任意	文字列型(64桁)	—
	姓	Last name	必須	文字列型(64桁)	—
	名	First name	任意	文字列型(64桁)	—
	姓カナ	Last name kana	任意	文字列型(64桁・カナのみ)	—
	名カナ	First name kana	任意	文字列型(64桁・カナのみ)	—
	電話番号	Phone	必須	電話番号型	*1
	メールアドレス	Email	任意	メールアドレス型	—
	請求書送付先	Recipient	必須	文字列型(40桁)	—
請求先住所 * 契約者住所から 自動コピー	郵便番号	postcode	必須	文字列型(7桁・数字のみ)	—
	都道府県	State / Province / Region	必須	リスト型(16桁)	可能
	市区郡町村名	Town / suburb	必須	文字列型(10桁)	—
	町名・番地	street name	必須	文字列型(20桁)	—
	町名・番地2	building	必須	文字列型(25桁)	—

*1: デフォルト数字3桁以上であるが、設定変更により日本独自形式として数字10桁～11桁とする

*2: SEPA (Single Euro Payment Area: 単一ユーロ決済圏) による登録のみとなるため、日本向けの銀行口座利用には利用できません

クラウド型フルフィルメントサービスの 請求情報管理項目(4/4)

情報	項目		入力規則		
	和名	英名	必須	型	変更可否
請求詳細	通貨	Invoice currency	任意	リスト型 (*1)	可能
	請求サイクル	Bill cycle	任意	リスト型	画面より変更可
	請求間隔	Invoice interval	任意	リスト型	可能
	請求書テンプレート	Invoice template	任意	リスト型	テンプレート設定次第
	請求タイプ	Invoice type	任意	リスト型	—
	税表示	Invoice display	任意	リスト型	—
	最初の請求日	First invoice	任意	リスト型(自動生成)	—
免税対象	免税対象	Customer is tax exempt	任意	チェックボックス	—

*1:デフォルトでは、“円”のみ選択可能

*2:請求サイクルは案件により異なる

*3:請求間隔は毎月、隔月、四半期、半年、毎年

*4:請求書テンプレートは案件により異なる。請求書を用いない場合は、“初期設定”

*5:請求タイプは“メールによるオンライン請求”、または“オンライン請求と紙の請求”が選択可能

*6:制表示は外税、内税より選択可能

*7:最初の請求日は、請求サイクル、請求間隔を踏まえた日付を選択。

(例えば、請求サイクルが1日開始、請求間隔が毎月の場合、2月の申込では、2021/3/1、または2021/4/1が選択可能)

クラウド型フルフィルメントサービスの 商品情報管理項目

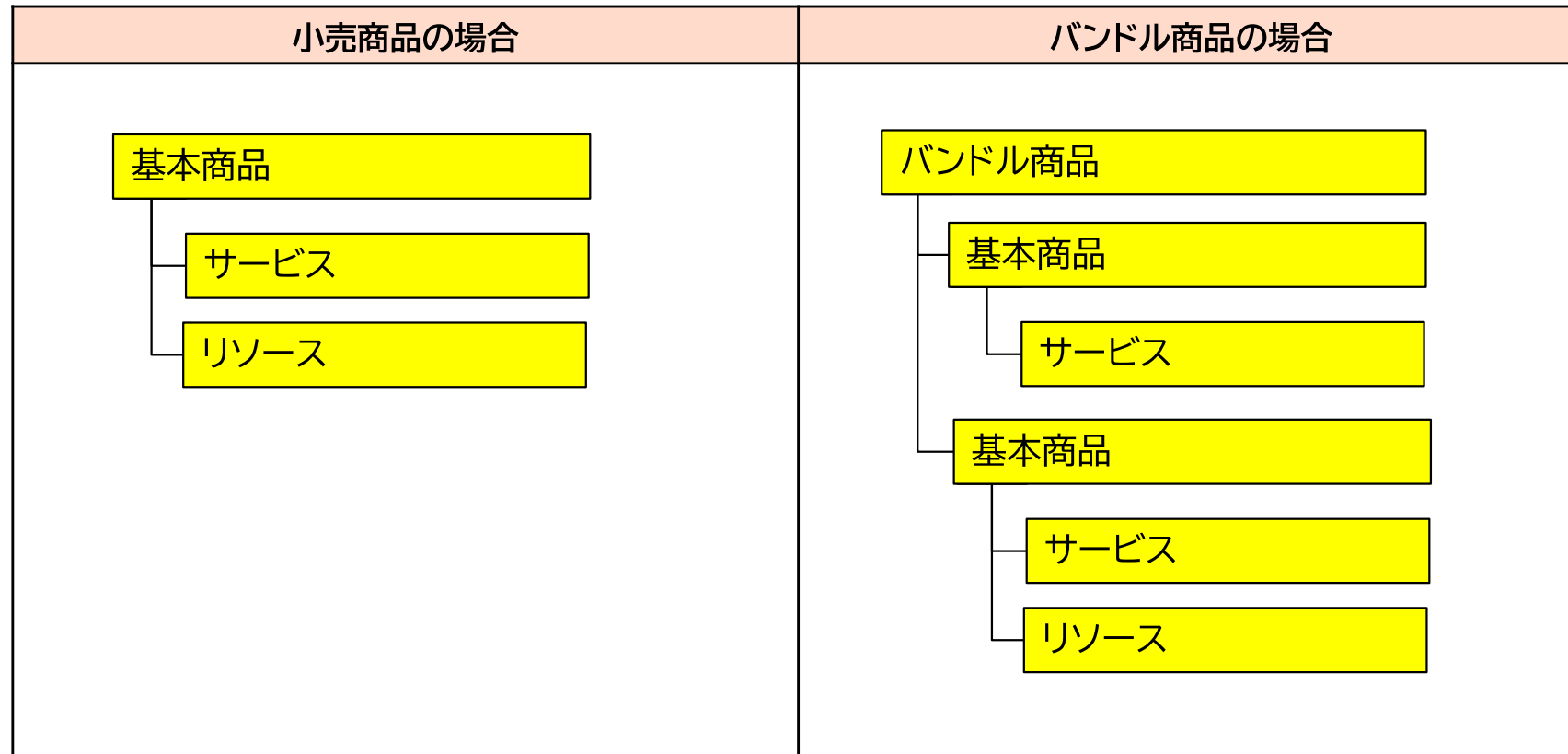
情報	項目		入力規則			
	和名	英名	必須	型桁	その他	変更可否
商品情報	対象日	target date	必須	日付型	-	不可
	「121_サービス」「123_商品」のヒアリングシートに基づいて設定されます					

注文管理として以下の種別を扱うことができます。
カート画面またはAPIを利用して申込が可能となり、完了するまでは取消することが可能です。

オーダー種別	オーダー概要	SmartBilling 連携対象 (*)
商品の新規申込	小売商品／バンドル商品を新規申込が可能となります	対象
大量申込	2つ以上の小売商品を一度に大量申込することが可能です	
商品の変更申込	契約済商品に対して料金情報や項目情報を変更することが可能となります	対象
商品の品目変更	契約済商品に対してアップグレード／ダウングレードという名目で商品を解約せずに別の商品へ変更することが可能となります	対象
商品の解約申込	契約済商品に対して解約申込が可能となります	対象
既契約商品のバンドル申込	既契約商品をバンドル商品に組み込むことが可能となります	対象外
バンドル解除	バンドル契約を解除し、小売商品としての契約へ変更します	対象外
商品の契約振替	別の顧客へ既契約の商品を振替します	対象外
商品の利用停止／解除	既契約商品の利用停止／解除ができます。これらは料金請求への影響はなく、利用停止状態を管理するのみに留まります	対象外
前払い情報の登録	商品の料金に対して前払い情報を登録することができます	対象外
複合オーダー	新規・変更・解約・品目変更・バンドル申込・バンドル解除をまとめて注文管理とすることができます(APIでのみ可能)	—

(*) : SmartBilling連携機能を利用するためには、SmartBillingと合わせたワンストップソリューションの契約が必要となります

小売商品／バンドル商品を注文した際には、サービス／リソースに分解され、プロビジョニング(開通管理)されます。



開通管理の方法は新規申込、変更申込、解約申込、利用停止／解除申込、前払いの追加の5種それぞれに選ぶことができます。開通方法は以下の3種があります。

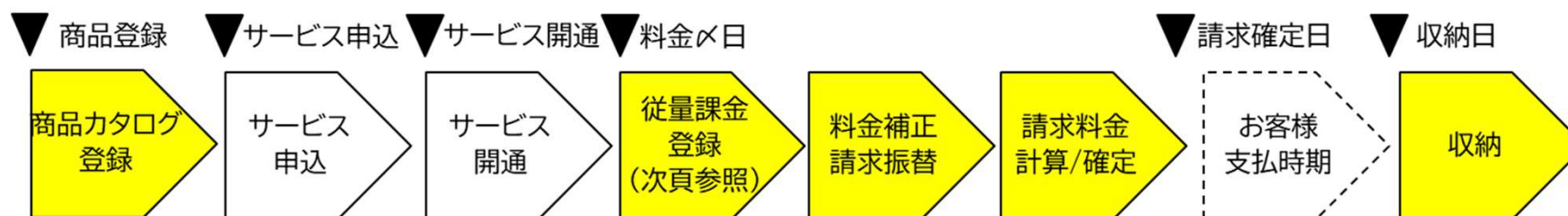
開通方法	オーダー概要
即時完了	プロビジョニングを即時完了する
タスク管理	プロビジョニング時にタスクを利用し、タスク画面にて管理する タスク画面にて完了することで開通完了とみなします
プロビジョニング管理	クラウド型フルフィルメントサービス以外のシステムにて開通管理している場合、他システムへ開通依頼をします。他システムから開通完了の通知をもって開通完了とみなします

なお、関連サービスの機能を利用することで、Aサービス完了後、Bサービスの開通処理を動作するということもできます。

料金／請求管理

料金登録／請求の流れとしては以下の通りとなります。

- ①商品カタログ登録（”05. 料金モデル”に詳細記載あり）
- ②料金×日から請求確定日に実施する作業
- ③収納作業



開通方法	オーダ概要
料金補正	お客様への請求情報に対して加算・減算します（”05. 料金モデル”に詳細記載あり）
請求振替	お客様への請求を他のお客様へ請求するようにします
請求確定計算/確定	お客様への請求について事前のシミュレーション、料金計算・確定をすることができます 料金確定後の料金補正はできません
収納	お客様への請求に対して支払状況を登録します 支払状況については必ず登録する必要があり、収納管理を利用しないことはできません 収納状態に問題がある場合、督促管理なども可能です

従量課金の登録はAPIを利用して、元となる利用量の情報を登録し、小売商品、卸商品の料金を計算します。

